

告示	番号	19	内分泌疾患
	疾病名	17 及び 18 に掲げるもののほか、高インスリン血性低血糖症	

77 及び 78 に掲げるもののほか、高インスリン血性低血糖症

そのた、こういんすりんけっせいていけっとうしょう

概念・定義

インスリンの過剰によって難治性の低血糖をきたす疾患のうちインスリンノーマ、先天性高インスリン血症によらないもの。

症状

空腹時の低血糖発作が主要な症状であるが、ダンピング症候群では食後2-3時間での反応性低血糖が見られる。意識障害、けいれんなどの中枢神経症状 (neuroglycopenic symptom) と、低血糖に対する防衛反応としての発汗、震えなどの自律神経症状(adrenergic symptom)が見られる。

治療

低血糖発作に対してのブドウ糖輸液などのほか、頻回食、胃瘻や鼻注による持続流動食注入などの対症療法が原因によらず行われる。治療は主として食事療法を中心とする対症療法であるが、ジアゾキサイド内服、オクトレオチド皮下注、グルカゴン静注・筋注などが使用されることもある（後2者は保険適応外）。まれに膵切除が行われるときもある。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_34_79.html